



# 御手洗の歩き方

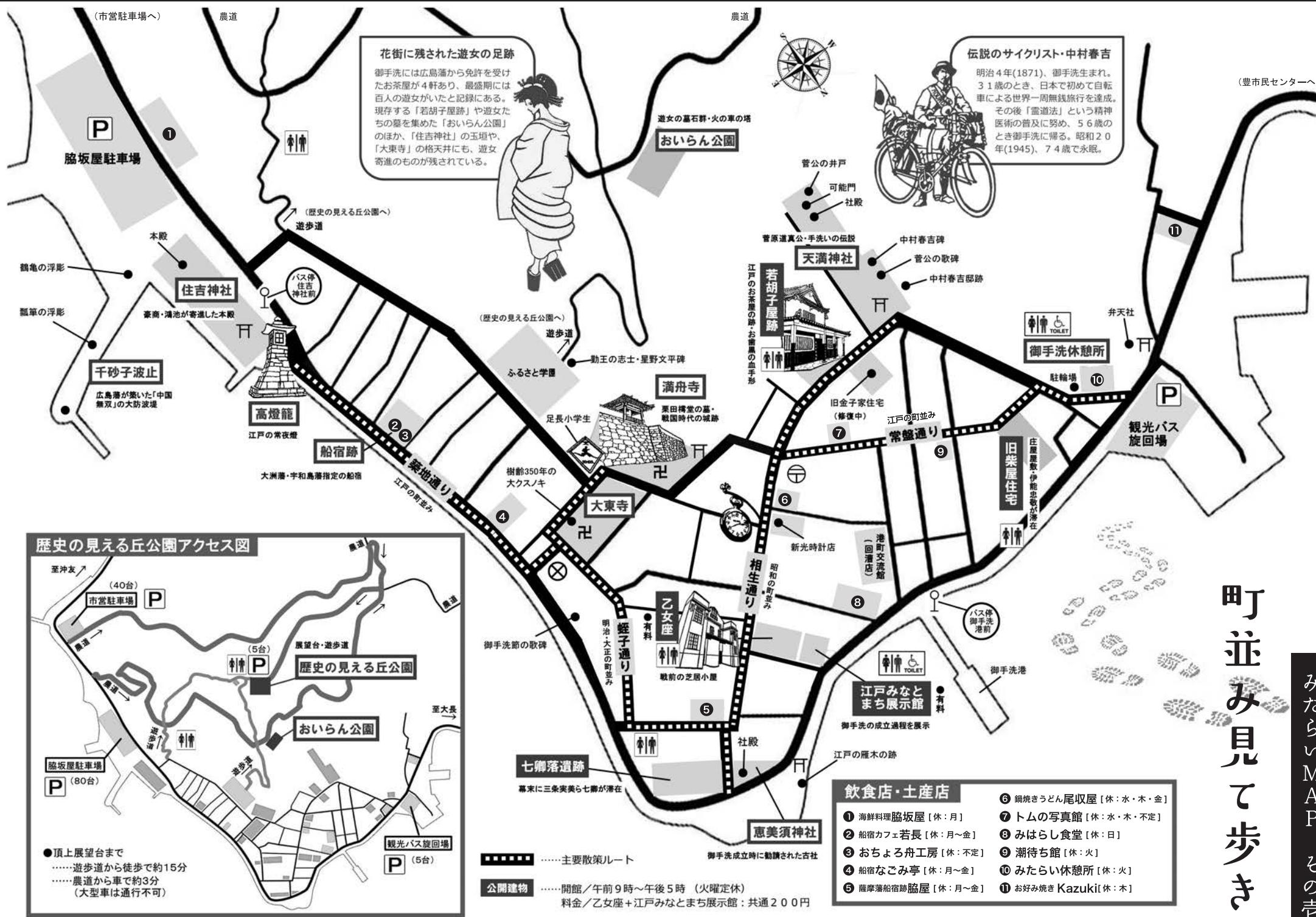
mitarai travel guide book



発行：豊町魅力アップ事業実行委員会

## 町並み見て歩き

みたらし M A P その壱



# パワースポット巡り

御手洗のパワースポットを一挙公開!  
あなたの願う「ご利益」は?



## 水先案内

### ① 住吉神社

海上交通の神様で人生や事業の進むべき道を先導する

## 商売繁盛

### ④ 恵美須神社

御手洗の繁栄の神様と金運円満の神様

## 立身榮達

### ⑥ 天満神社

学問上達の神様で合格祈願や就職・昇進祈願もOK!

## 大業貢徵

### ⑥ 中村春吉碑

自転車で世界一周を達成した偉人のパワーにあやかる



## 良縁招授

### ③ 満舟寺

行基菩薩作の本尊十一面觀音に祈る良縁に恵まれる

## 恋愛成就

### ④ 恋告げ鳥居

鳥居に抱きついで好きな相手の名を呼ぶと恋が叶う!

## 復縁招授

### ⑤ ひよんの木

風で葉がヒヨウと鳴る音を聴いたら相手よりが戻る

## 縁結縁切

### ⑦ 弁天社

女子力がアップ! カップルで行くと別れるので注意!



## 無病延命

### ① 鶴亀の浮彫

鶴亀の順に浮彫をなでると無病息災で長寿に恵まれる

## 安産子授

### ① 瓢箪の浮彫

ヒヨウタンの腹をなでると子孫繁栄で安産に恵まれる

## 酒断煙断

### ③ 健康地蔵

元は酒断ち祈願で信仰を集めた像で煙草断ちにも効果

## 不老長寿

### ④ 若返りの石

さするとアンチエイジングのご利益がある不思議な石

## 身体壮健

### ③ 力石

四十貫と記された石を持ち上げるとあらゆる力がつく



## 開運招福

### ② 五福神の門

五人の神が瓦に乗り門をくぐると幸運が舞い込む!

## 自然パワー

### ② 大くすのき

樹齢350年の大楠の根元に座ってパワーをもらおう

## 勝負必勝

### ③ 満舟寺の鐘

「万舟を當てる」の諺呂合わせで一回突けば勝負に勝つ

## 厄除清浄

### ③ 菅公の井戸

菅公所縁の井戸の水で手をすすぎれば厄縁を洗い流せる

## 心願成就

### ⑥ 可能門

本殿裏下の通路を願掛けをしながら抜けなければ必ず叶う

番外編 怪奇スポット  
**火の車の塔**  
宝曆の頃の話。「二十三夜」の月待ちで人々が丘で宴を催していた時、突然あたりが暗くなり、ゴロゴロという音とともに、夜空を燃えさせる火の車が通り過ぎていく。見ると、和助という髪結いが乗っていたため、驚いて家に行くと先ほど急死したとのこと。人々は供養のため、丘に塔を建立したという。



おいらん公園



菅公の井戸

可能門

天満神社

中村春吉碑

力石

観光案内所

P

TOILET

?



番外編 怪奇スポット  
**お歯黒の血手形**  
お茶屋だった頃の話。ある時、怒った花魁にお付きの先(女児)が、煮えたぎったお歯黒を飲まされ、血を吐いて死んだ。そのとき壁に残した手形が、何度も塗り替えて下から現れ、以来、店の遊女が百人になると必ず一人死んだと伝えられている。現在も当時の壁が残り、2階から見ることができる。



バス停 手洗港前

御手洗港

TOILET

?

P

?

?

?

?

?

?

?

?

?

?

?



若返りの石

惠美須神社

恋告げ鳥居

?

?

?

?

?

?

?

?

?

?

?

# 歴史と伝承散策

## 平安 菅公の井戸 ①

### 「御手洗」の地名の由来

延喜元年(901)年、菅原道真公が九州の太宰府へ流される途中、この地に立ち寄り湧き水で手を洗ったことから、「御手洗」という地名になったという。正徳~享保(1711~36)年間作成の「芸備諸郡駿所市町絵図」には、この井戸のことが記されている。他にも神功皇后を主人公とするなど諸説ある。

## 平安 満舟寺 ②

### 平清盛創建の觀音堂

平清公が上洛の途中にこの付近で嵐に遭い、神仏に祈りを捧げたところ晴天となったため、草庵を建てて行基作の十一面觀世音像を安置したという。觀音堂の額は江戸時代のもので、琉球使節に随行した中山の楽師・梁光地が揮毫したもの。境内には、伊予佛尊の指導者・栗田博堂の墓もある。

## 戦国 満舟寺石垣 ③

### 水軍の城跡とされる石垣

戦国期の築城術である「乱れ築き」と呼ばれる巨大な石積み。記録では、伊予国守護河野氏に属していた来島村上氏が、御手洗にある「海闊」の誓護にあたっていたとあり、その水軍の城跡ではないかとされている。「鶴姫伝説」では、三島水軍と大内氏との戦いが、御手洗沖で幾度も行われたという。

## 江戸 みなとまち展示館 ④

### 北前船の寄港地として繁栄

江戸中期以後、北前船の寄港地として成立発展していった御手洗。その成り立ちや、当時の貴重な文物を展示している資料館。隣接する「乙女座」との共通で、入館料200円。火曜休館。

## 江戸 若胡子屋跡 ⑤

### 榮華が惚れるお茶屋の跡

享保9年(1724)に藩の免許を受けたお茶屋(遊郭)の跡。全盛時の御手洗には100人以上の遊女がいたといい、天保(1830~44)以前の『諸国色里番付』には、西の11番目に御手洗の名前があるなど、全国的に知られた花街だった。熊本藩主細川越中守の豪遊や、オランダ商館一行の遊興の記録もある。

## 江戸 旧柴屋住宅 ⑥

### 伊能忠敬が測量に滞在

町年寄役・高橋家(柴屋)の別宅で、文化3年(1806)に伊能忠敬が大崎島の測量をした時に滞在した屋敷の跡。忠敬がこの地で測量している様子を描いた「御手洗測量之図」は、全国で2例しかない貴重な実写図。忠敬の姿が確認できるのはこの1枚のみで、現在はレプリカを展示している。

## 江戸 住吉神社 ⑦

### 豪商・鴻池が神社を寄進

19世紀以降、瀬戸内各地の港と競合し始めた御手洗の繁榮を取り戻すため、文政12年(1829)、「中国無双」と称する全長120mの防波堤を広島藩が造成。翌年、その付け根の造成地に、藩の御用商人である大阪の豪商・鴻池が、堺の住吉大社を1/2に写し取った本殿を寄進。町内のほか各地の有力商人も、拝殿や玉垣、灯籠などを競って寄進し、今に残る住吉神社が完成した。

## 江戸 船宿「若本屋」⑧

### 宇和島藩・大洲藩の船宿

宇和島・大洲両藩の船宿に指定されていた「若本屋」(三軒長屋の中央)。船宿は、御用船の世話一切のほか、その藩の年貢米や産物の売りさばき、借財の用立て、書状の中継ぎなど、御用商人の役割を引き受けている。御手洗には、他にも九州や四国諸藩の指定を受けた船宿が多数あったという。「江戸みなとまち展示館」には、当時の船宿の看板や藩の家紋の旗が残っている。



**御手洗に残された史跡の数々！**

**隠された広島藩の倒幕運動の舞台がここに！**

## 幕末 星野文平碑 ⑨

### 早世した勤王の志士

御手洗出身の星野文平(1835~63)は英才の誉れ高く、広島藩学問所の教授となる。尊皇攘夷思想に影響を受け、同志と脱藩を計画するが、藩の執政・辻将曹が上京する際に、一人随行から外される。文平は腹を切って嘆願し、上京を許されるが、文久3年(1863)2月、蒸気船の購入交渉で伏見の勝海舟に会いに行く途中、傷口が悪化して客死する。広島藩倒幕派の中心人物となつたはずの、早すぎる死であった。

## 幕末 船宿「脇屋」⑩

### 薩摩藩との「御手洗交易」

文久3年(1863)、軍備の洋式化を図る広島藩は、蒸気船「震天丸」購入のために薩摩藩から十万両を借り、返済として米・銅・鉄・綿等を薩摩藩に渡していた。その取引場所に指定されたのが御手洗で、この密交易は「御手洗交易」と呼ばれている。この薩摩藩の船宿「脇屋」や豪商「竹原屋」などが実際の窓口になったと思われる。やがて長州藩との密貿易も宮島で始まり、薩摩藩との間で鉄砲の密貿易を行っている。

## 幕末 七卿落遺跡 ⑪

### 流浪の三条実美らが逗留

町屋・多田家(竹原屋)の屋敷跡。文久3年(1863)、「八・一八の政変」で、三条実美ら七卿は長州に落ち延びる(七卿落ち)。翌元治元年(1864)、長州軍が京に進軍したとき、実美たち(このときは五卿)も入京を企てるが、長州勢は蛤御門の変で敗北。五卿は途中で引き返し、二夜をこの屋敷で過ごしている。この屋敷には、オランダ商館のテーレマン・バクも駐在し、薩摩藩との間で鉄砲の密貿易を行っている。

### 記録に残る維新関係者の御手洗入港

嘉永6年(1853)10月	吉田 松陰
安政6年(1859)10月	河井経之助
万延元年(1860)4月	高杉 晋作
文久2年(1862)4月	大久保利通
慶応3年(1867)1月	中岡慎太郎
慶応3年(1867)4月	坂本 龍馬
慶応3年(1867)11月	小田村伊之助

## 幕末 旧金子家住宅 ⑫

### 長芸倒幕の密約の締結地

町年寄・庄屋役の金子家(三笠屋)の屋敷。慶応3年(1867)9月、薩摩・長州・広島の三藩は倒幕同盟を密かに結び、京への出兵を計画する。同年11月、広島藩の軍勢が御手洗に到着し、7隻の軍艦に分乗した長州軍も御手洗に集結。この屋敷で出兵の約定「御手洗条約」を結び、同月26日にそろって京へ出航している。しかし、穩健派の広島藩は鳥羽伏見の戦いで兵を動かさず、維新の中枢から外れてしまう。





発行：豊町魅力アップ事業実行委員会